



インド大統領 プラナブ・ムカルジー

69回目迎える インド独立記念日



インドには二つの重要な記念日がある。共和国憲法が公布された1950年1月26日を祝う「インド共和国記念日」と、長い独立運動を経て、1947年8月15日、独立国となったことを祝う「インド共和国独立記念日」だ。あすは69回目となるインド共和国独立記念日である。毎年、インド各地ではこの記念日を祝うためのさまざまな記念行事が催される。



インド首相 ナレンドラ・モディ

急速な成長を続ける経済国に

駐日インド大使 ディーパ・ゴパラン・ワドワ

第69回インド独立記念日に際し、天皇皇后両陛下、日本政府、親愛なる日本国民の皆さまに謹んであいさつ申し上げます。また、この機会に、インド政府が印日両国を結ぶ特別戦略的グローバル・パートナーシップの深化・拡大に、これからも強く関与し続けていくことを皆さまにお伝えいたします。

発展を続けるインド

8月15日は在日インド人を含み、世界各地で暮らすインド人が国について深く思いを馳せ、お祝いをする日です。私たちはインドの自由を勝ち取るため果敢な努力を続けた偉大な先人たちが払った犠牲について考え、自分たちは先人たちの希望や夢を実現するべく、国家として前進していくかと思っています。

ガバナンスの向上

昨年5月に発足したモディ政権はガバナンスの向上と開発を推進する政策を打ち出しました。このことは英領の植民地支配から独立したインドが歩んできた発展への長い道のりを象徴しています。直近では2015年7月にインド宇宙研究機関(ISRO)が英国の衛星5基を打ち上げました。

印日関係黄金期を

両首相は印日関係を特別戦略的グローバル・パートナーシップに格上げし、戦略、安全保障、防衛における協力をさらに強化することに合意しました。首脳会談後、「印日投資推進パートナーシップ」が発表されました。安倍首相は、今後5年間でインドの専務理事を務められた99歳の三谷佐一郎氏の70年余にわたる印日関係への貢献をたたえ、三角氏に名誉あるパドマ・ブッシュン賞を授与しました。



国の発展の度合いは女性の地位によっても測られます。インドが、次に挙げる事実や数字はインドにおける女性の立場がいかに前進したかを、説得力をもって示しています。憲法に規定された男女平等の理念に導かれ、女性の政治的・経済的エンパワーメント(力を付けること)と前進のための法律、政策、戦略が制定されました。これらは、社会インフラをきれいに「運動」人口の過半数を占める若者の雇用を創出するための「メイス」が、次に挙げる事実や数字は「ク・イン・インド」政策の策、労働者の能力向上を目指す「スキル・インド」政策、質の高い、説明責任が確立された公共サービスを実現するための「デジタル・インド」政策などが実行されています。

ジャパンプラスー投資相談窓口設置

インド政府は「メイク・イン・インド」の普及と、人口の3分の2を占める8億人の農民が消費活動に参加できるようにするための、自動車、携帯電話、消費財など多岐にわたる産業でチャンスは多いとインドの投資環境を説明する。

具体的な期間・成果を意識した取り組みに変わってきた。松本次長は、インドは東洋の日本に多く、日本企業とのマッチング需要は日々増えている。JICAはすでに中小企業の技術移転や現地進出のサポートも始めている。インド政府の投資環境整備に対し、積極的に協力していく(松本次長)。



Find what you seek Incredible India 驚きの国 インド Tourist Visa

CYIENT DESIGNING TOMORROW TOGETHER 社名CYIENT「サイエント」にはCLIENT「お客様」SCIENCE「技術」という意味が込められており、「Designing Tomorrow Together」「未来を共に築いていきましょう。」をブランドプロミスとしております。

Fascinating India! No one connects India like Air India Fly the most comfortable Boeing 787 - Dreamliner Enjoy flat bed in Executive class